

愛教大グループ研究

「新聞女子」

「歴史女子」にあやか
つて「新聞女子」でアピー
ル。愛知教育大(刈谷市)
の美術科2年生が授業で「若者に新聞を読ませるには」をテーマにグ
ループ研究を行った。学習指導要領の改訂で4月から小学校で、来年4月からは中学校で新聞を教材にした本格的な授業が始まること。しかし、新聞を読む大学生は少なく、教師を目指す学生向けに「新聞のススメ」を考えた。

最近の「カメラ女子」
「歴史女子」「山ガール」などの女性アームにあやか
つて「新聞女子」を打ち出した。若者に新聞を読む習慣が少ないことから、新聞を読む女子のイメージを「社会に興味がある」「かっこいい」「デキる女」「知的」とPRする。

「始めよう見出し読み」というアドバイスも。見出しや記事の最初の段落を読むだけでも情報や知識は得られ、インターネット

読む学生のイメージ…

…「社会に興味」「かっこいい」「デキる」「知的」



「新聞女子」の企画を発表する研究班
=刈谷市の愛知教育大で

ットより効率的だと指摘し、ニュースや情報は就職活動にも役立つとしている。

「新聞女子」をまとめた研究メンバーの池下絢子さんは「新聞の長所や短所を知ることができ、新聞へのイメージが少し

変わった。教師が新聞を教材に活用する以上は、新聞の作り方や考え方など、新聞そのものを知ることも必要だと思った」と話す。

指導した富山祥瑞教授は「新聞を読む習慣がないと、新聞を十分に理解できないし、新聞を使つた授業もうまくいかない。ネット時代の新聞を見つめ直し、興味を抱くきっかけにしてほしい」と期待する。【安間教雄】